

株主通信

YBHD NEWS No.46

平成28年6月

第152回 定時株主総会決議ご通知

第152期 報告書



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード:5911



つなく、むすぶ、広げる、未来へ

The Next Perspective





代表取締役社長

吉井久司

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当社第152期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、株主通信をお届けし、その概況をご報告申し上げます。
また、平成28年6月29日に第152回定時株主総会を開催し、報告事項についてご報告し、議案についてご承認いただきましたので、後記のとおりご報告申し上げます。
当社グループを取り巻く事業環境につきましては、首都圏を中心とする大型再開発プロジェクトが活況を呈する一方で、公共工事は減少傾向にあり、新設橋梁の発注につきましても、首都圏中央連絡自動車道などの大型工事の減少により低迷が続きまして、
こうした環境下ではありますが、当社グループの平成28年3月期の業績は、増収増益となり、売上高は過去最高を更新いたしました。また、年間配当金につきましては、1株につき16円(2円増配)とさせていただきます。

第153期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の業績につきましては、売上高1,150億円、営業利益67億円、経常利益68億円と予想しております。なお、4月22日に発生いたしました橋桁落下事故に伴う損失(特別損失)を合理的に見積もることができておりませんため、親会社株主に帰属する当期純利益は未定とさせていただきます。
当社は、株主の皆様に対する利益配分を最重要施策の一つとして認識し、業績ならびに今後の事業展開に伴う資金需要などを総合的に勘案のうえ、安定した配当を継続することを基本方針としております。この基本方針に基づき、年間配当金は1株につき16円を継続させていただく予定でございます。
当社グループは本年2月に平成28年度を初年度、平成30年度を最終年度とする第4次中期経営計画を発表いたしました。この度の事故による業績への影響も予想され、大変厳しいスタートとなりましたが、事業を着実に推進し、最終年度の業績目標(売上高1,250億円、営業利益75億円、1株当たり当期純利益125円)の達成に向けて全力で取り組んでまいります。

株主の皆様には、新名神高速道路建設現場での橋桁落下事故により、多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。今後、このような事故を二度と起こさぬよう、全社を挙げて再発防止と安全施工の徹底に取り組み、皆様からの信頼回復に努めてまいります。

平成28年6月

第152回定時株主総会決議ご通知

平成28年6月29日開催の当社第152回定時株主総会におきまして、以下のとおり報告ならびに決議されましたので報告申し上げます。

- 報告事項**
- 第152期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。
 - 第152期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)計算書類報告の件
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 剰余金の配当の件**
本件は、原案どおり承認可決されました。
(期末配当金は1株につき8円と決定いたしました。)
- 第2号議案 取締役10名選任の件**
本件は、原案どおり承認可決され、取締役に吉田明、藤井久司、高木清次、名取暢、金子俊一、高田和彦、北田幹直の7氏が再選され、宮本英典、大島輝彦、亀井泰憲の3氏が新たに選任されました。
なお、北田幹直、亀井泰憲の両氏は、社外取締役であります。
- 第3号議案 監査役2名選任の件**
本件は、原案どおり承認可決され、監査役に志々目昌史、西山重良の両氏が再選され、それぞれ就任いたしました。
なお、志々目昌史、西山重良の両氏は、社外監査役であります。

以上

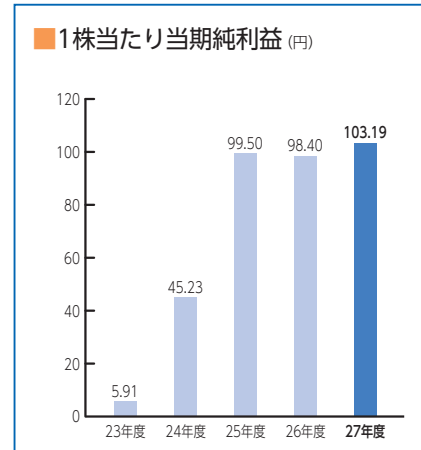
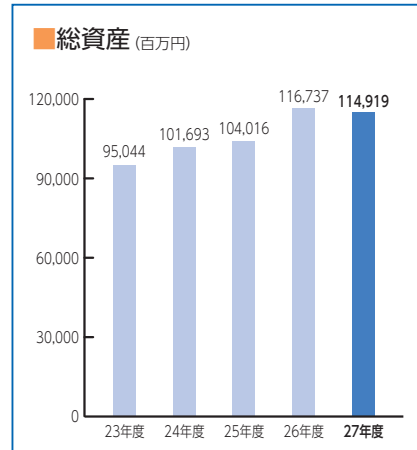
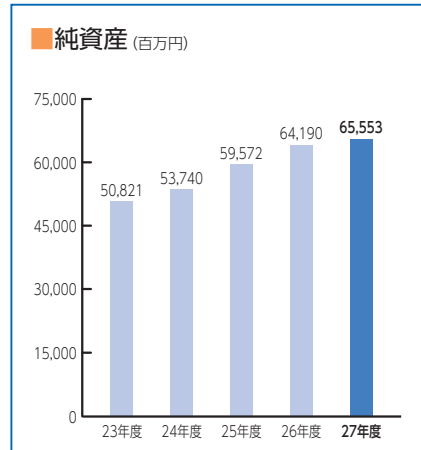
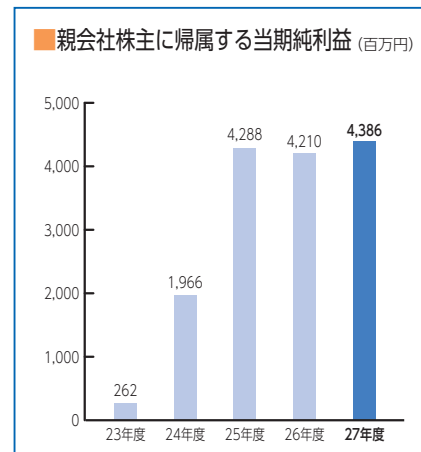
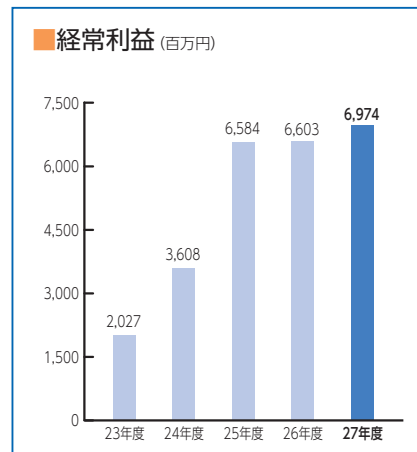
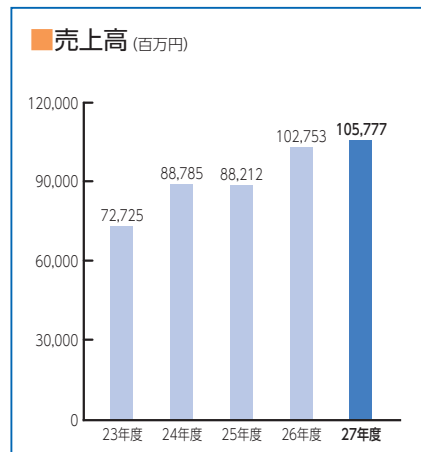
本総会終了後開催いたしました取締役会において、次のとおり役付取締役および代表取締役が選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役 取締役会長 吉田 明(重任)

代表取締役 取締役社長 藤井久司(重任)

また、同じく監査役会において、北爪恒平、深沢誠の2氏が常勤監査役に選定され、それぞれ就任いたしました。
なお、取締役を退任いたしました猪岡修治氏は株式会社横河システム建築常勤顧問に就任いたしました。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高 (百万円)	72,725	88,785	88,212	102,753	105,777
経常利益 (百万円)	2,027	3,608	6,584	6,603	6,974
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	262	1,966	4,288	4,210	4,386



第4次中期経営計画の紹介

当社グループは、平成28年度を初年度とする第4次中期経営計画(平成28年度から平成30年度まで)を策定しました。

基本方針

- 1 合併効果を発揮させ、経営資源の再配分などグループ全体での経営の一層の効率化を図る
- 2 新設・保全をあわせた橋梁事業全体での事業拡大を目指す
- 3 システム建築事業をはじめとした建築事業と土木関連事業の更なる成長を目指す
- 4 大規模更新・大規模修繕事業への対応をはじめとする保全事業の強化拡大を図る

数値目標

	第3次中計最終年度 (平成28年3月末)	第4次中計最終年度 (平成31年3月末)
【売上高】	1,057億円	1,250億円
【営業利益】	69億円	75億円
【1株当たり当期純利益】	103円	125円

■ 連結貸借対照表

	前期	当期
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	76,386	76,692
現金預金	13,298	18,545
受取手形・完成工事未収入金等	55,297	52,740
有価証券	2,903	388
たな卸資産	1,144	1,183
繰延税金資産	2,144	2,367
その他	1,635	1,480
貸倒引当金	△ 37	△ 14
固定資産	40,351	38,226
有形固定資産	18,233	18,815
建物・構築物(純額)	6,067	6,130
機械装置及び運搬具(純額)	2,104	2,288
土地	9,760	9,760
建設仮勘定	43	380
その他(純額)	257	255
無形固定資産	903	942
ソフトウェア	827	867
その他	76	75
投資その他の資産	21,214	18,468
投資有価証券	17,929	15,438
関係会社株式	122	142
退職給付に係る資産	371	-
繰延税金資産	2,181	2,448
その他	632	438
貸倒引当金	△ 23	-
資産合計	116,737	114,919

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

	前期	当期
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
負債の部		
流動負債	35,007	37,421
支払手形・工事未払金等	19,655	15,750
短期借入金	5,700	2,400
1年内償還予定の社債	-	2,500
1年内返済予定の長期借入金	-	3,732
未払法人税等	1,138	2,208
未成工事受入金	1,324	2,570
工事損失引当金	2,351	3,821
賞与引当金	1,808	1,988
その他の引当金	64	69
その他	2,964	2,380
固定負債	17,539	11,944
社債	2,500	-
長期借入金	3,800	768
繰延税金負債	2,651	1,576
役員退職慰労引当金	570	670
退職給付に係る負債	7,613	8,546
その他	404	382
負債合計	52,546	49,365
純資産の部		
株主資本	58,082	61,192
資本金	9,435	9,435
資本剰余金	10,089	10,089
利益剰余金	40,693	44,399
自己株式	△ 2,135	△ 2,731
その他の包括利益累計額	5,112	3,166
その他有価証券評価差額金	5,625	4,114
土地再評価差額金	△ 947	△ 947
退職給付に係る調整累計額	434	-
非支配株主持分	995	1,194
純資産合計	64,190	65,553
負債純資産合計	116,737	114,919

■ 連結損益計算書

	前期	当期
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
売上高	102,753	105,777
売上原価	88,658	91,155
売上総利益	14,095	14,621
販売費及び一般管理費	7,693	7,716
営業利益	6,401	6,904
営業外収益	416	399
営業外費用	214	330
経常利益	6,603	6,974
特別利益	135	257
特別損失	202	337
税金等調整前当期純利益	6,537	6,894
法人税、住民税及び事業税	1,550	2,768
法人税等調整額	614	△ 462
当期純利益	4,371	4,587
非支配株主に帰属する当期純利益	161	200
親会社株主に帰属する当期純利益	4,210	4,386

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

	前期	当期
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,385	8,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,245	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,998	△ 3,878
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	△ 13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 5,615	4,244
現金及び現金同等物の期首残高	19,886	14,271
現金及び現金同等物の期末残高	14,271	18,515

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

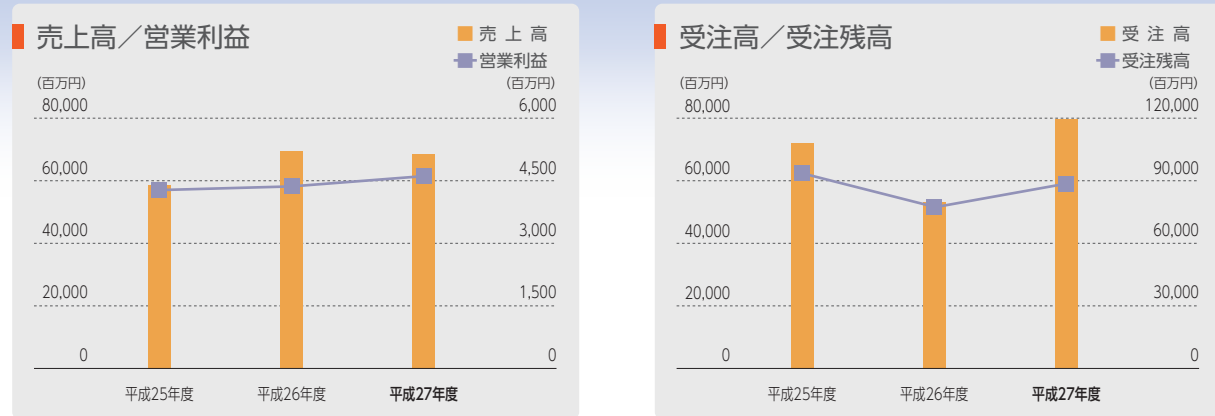
■ 連結株主資本等変動計算書

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計	
	当 期	資本	資本	利益	自己株式	株主資本	その他の包括利益	退職給付に係る	その他の包括利益			
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで	剰余金	剰余金	剰余金	株主資本	評価差額金	評価差額金	調整累計額	累計額			
当期首残高		9,435	10,089	40,693	△ 2,135	58,082	5,625	△ 947	434	5,112	995	64,190
当期変動額												
剰余金の配当				△ 680		△ 680						△ 680
親会社株主に帰属する当期純利益				4,386		4,386						4,386
自己株式の取得					△ 595	△ 595						△ 595
自己株式の処分			0		0	0						0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							△ 1,511	△ 434	△ 1,945	198	△ 1,747	
当期変動額合計		-	0	3,706	△ 595	3,110	△ 1,511	-	△ 434	△ 1,945	198	1,363
当期末残高		9,435	10,089	44,399	△ 2,731	61,192	4,114	△ 947	-	3,166	1,194	65,553

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別の状況

1 橋梁事業



(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	58,685	69,325	68,434
営業利益	4,276	4,366	4,611
受注高	72,037	53,229	79,571
受注残高	93,586	77,490	88,627

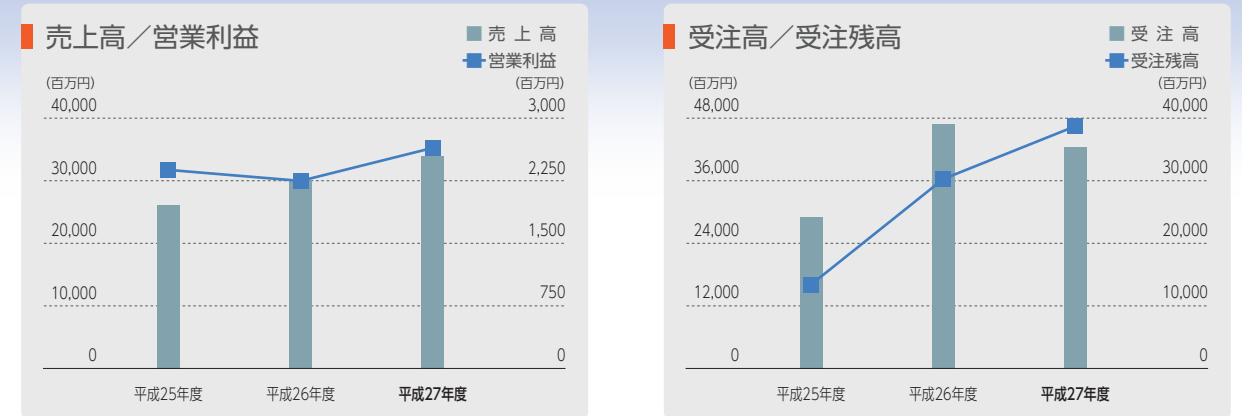
当期の経営成績

- 首都圏中央連絡自動車道などに代表される大型プロジェクトの減少により、発注量は前期をさらに下回り、昭和40年からの51年間で最低の水準となりました。このような状況下当社グループは、国土交通省発注工事につきましては高い技術評価点を安定的に獲得することによりシェアアップを実現し、高速道路会社と地方自治体につきましても北から南まで全国を網羅する積極的な営業展開が実を結び、さらに保全工事につきましても大型の耐震補強工事などで受注量が拡大いたしました。
- 売上高につきましては期首の繰越工事高減少の影響が残りましたため、前期を僅かに下回りました。

今後の取り組み

- 圏央道等の大型プロジェクトの減少により、新設橋梁の発注量は縮小傾向にありますものの、老朽化対策としての橋梁補修・橋梁架替の全国的な需要に加え、高速道路の大規模更新・大規模修繕事業が本格化してまいりますため、橋梁事業全体の市場は一定の規模を保っていくものと思われまます。
- 来期の業績は、売上高665億円、営業利益39億円と予想しております。

2 エンジニアリング関連事業



(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	26,132	30,045	33,924
営業利益	2,380	2,248	2,644
受注高	29,064	46,913	42,375
受注残高	13,406	30,274	38,725

当期の経営成績

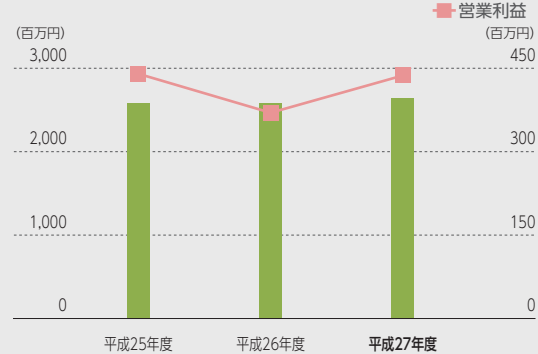
- システム建築事業の受注が6期連続で伸長いたしました。一方、土木関連事業はトンネル関連の大型受注がありました前期実績には届きませんでした。
- 業績につきましてはシステム建築事業の受注の増加に伴い増収増益となりました。

今後の取り組み

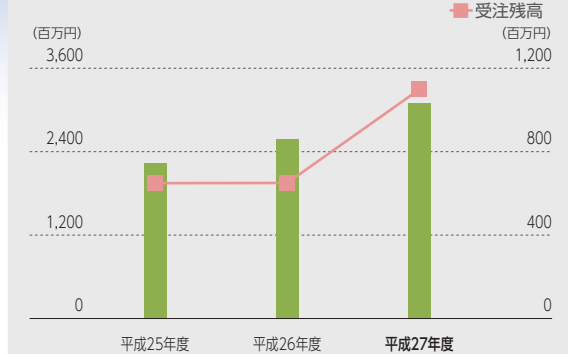
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、需要は当面堅調に推移していくと想定しております。
- 来期の業績は、売上高440億円、営業利益30億円と予想しております。

3 先端技術事業

売上高／営業利益



受注高／受注残高



(単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	2,581	2,588	2,646
営業利益	440	370	437
受注高	2,233	2,589	3,095
受注残高	649	650	1,099

当期の経営成績

- ・精密機器製造事業の液晶パネル製造装置関連の需要が底堅く、第4四半期には若干増加傾向となりましたため、受注高は前期を上回りました。

今後の取り組み

- ・引き続き新製品の開発、新規顧客の開拓に努めてまいります。
- ・来期の業績は、売上高38億円、営業利益5.5億円と予想しております。

4 不動産事業

当期の経営成績・今後の取り組み

- ・安定的な収入と利益を確保することができました。
- ・来期の業績は、売上高7億円、営業利益2.5億円と予想しております。

株式の状況

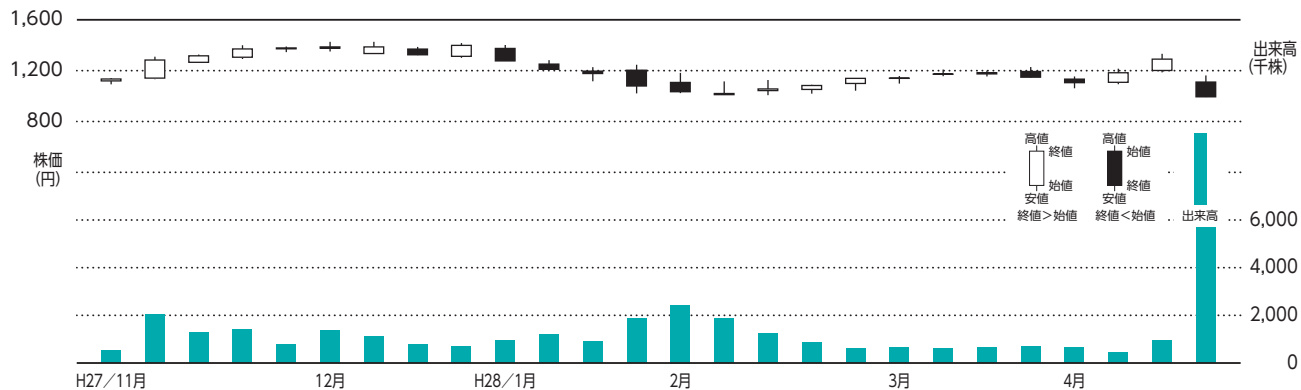
発行可能株式総数…………… 180,000,000株
 発行済株式総数…………… 45,564,802株
 株主数…………… 6,492名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
日本フロンティアサービス信託銀行株式会社(信託口)	3,526千	8.39
横河電機株式会社	2,793千	6.65
新日鐵住金株式会社	1,987千	4.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,246千	2.96
RBC ISB S/A DUB NON RESIDENT/TREATY RATE UCITS-CLIENTS ACCOUNT	900千	2.14
株式会社みずほ銀行	890千	2.12
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	874千	2.08
GOLDMAN,SACHS & CO.REG	775千	1.84
日本フロンティアサービス信託銀行株式会社(信託口9)	763千	1.81
住友不動産株式会社	674千	1.60

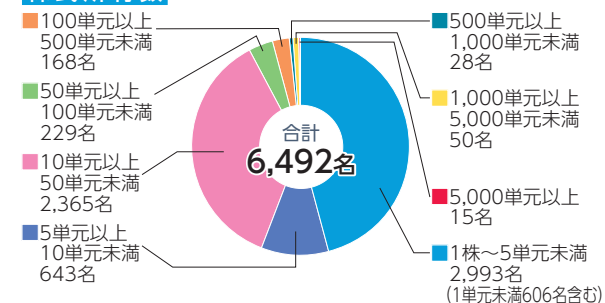
(注) 1. 当社は、自己株式を3,566,475株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移

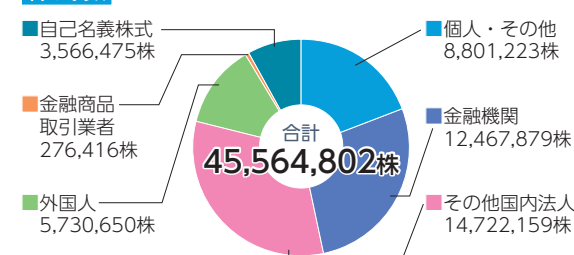


株式分布状況

株式所有数



株式数



会社概要

Corporate Data

■ 会社概要

社名 株式会社横河ブリッジホールディングス
所在地 〒108-0023
東京都港区芝浦四丁目4番44号
TEL:03-3453-4111(代表)

資本金 9,435百万円
主な機能 経営戦略、法務・監査、経理・財務
総務・人事、IR・広報、技術研究開発

■ 役員一覧 (平成28年6月29日現在)

代表取締役会長	吉田明	
代表取締役社長	藤井久司	
取締役	高木清次	
取締役	宮本英典	
取締役	名取暢	
取締役	大島輝彦	
取締役	金子俊一	
取締役	高田和彦	
取締役	北田幹直	(社外取締役)
取締役	亀井泰憲	(社外取締役)
常勤監査役	北爪恒平	
常勤監査役	深沢誠	
監査役	志々目昌史	(社外監査役)
監査役	八木和則	(社外監査役)
監査役	西山重良	(社外監査役)

表紙の写真

南備讃瀬戸大橋(みなみびさんせとおおはし)

構造形式:3径間連続補剛トラス吊橋

備讃瀬戸航路を跨ぎ、与島と番の州を結ぶ世界最大級の道路、鉄道併用橋です。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金 毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日
交付株主確定日 毎年6月下旬
定時株主総会 100株
単元株式数 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
電話お問い合わせ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社
本店および全国各支店
公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.ybhd.co.jp/>

■ YBHDグループ



株式会社 横河ブリッジホールディングス
グループ全体の経営管理



株式会社 横河ブリッジ
橋梁・橋梁関連製品・土木・建築・保全・精密機器製造



株式会社 横河システム建築
システム建築・開閉式建築システム・環境



株式会社 横河住金ブリッジ
橋梁・橋梁関連製品・セグメント



株式会社 檜崎製作所
橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品



株式会社 横河技術情報
情報処理サービス・ソフトウェア開発



株式会社 横河ニューライフ
不動産管理・情報システム・人材派遣



株式会社 ワイ・シー・イー
橋梁等構造物の総合エンジニアリング



株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL. 03-3453-4111(代表)

<http://www.ybhd.co.jp/>

